

令和元年度

諫早市下水道事業会計
決算審査意見書

諫早市監査委員

2 諫 監 第 4 7 号
令和 2 年 9 月 4 日

諫早市長 宮 本 明 雄 様

諫早市監査委員	谷 口	啓
諫早市監査委員	森 口	恭 子
諫早市監査委員	北 坂	秋 男

令和元年度諫早市下水道事業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付され令和元年度諫早市下水道事業会計決算の審査を行ったので、その結果について次のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の手続	1
第2	審査の結果	1
1	事業の概要について	1
2	予算の執行状況について	2
	(1) 収益的収入及び支出	
	(2) 資本的収入及び支出	
	(3) その他の予算事項	
3	経営成績について	7
	(1) 営業収益及び営業費用	
	(2) 営業外収益及び営業外費用	
	(3) 特別利益及び特別損失	
	(4) 原価計算	
	(5) 剰余金計算	
	(6) 各下水道事業別の経営成績	
4	財政状態について	13
	(1) 資産の部	
	(2) 負債の部	
	(3) 資本の部	
5	資金収支の状況について	17
6	セグメント情報	18
7	むすび	19

おことわり事項

- 本書中の各比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。
- 下記表現の説明は、次のとおりである。
 - 「0」・「0.0」 該当数値はあるが単位未満のもの
 - 「-」 該当数値がないもの
 - 「皆増」 前年度に数値がなく全額増加したもの
 - 「皆減」 当年度に数値がなく全額減少したもの
- 本書中に用いているポイントとは、パーセンテージ間の単純差引き数値である。

令和元年度諫早市下水道事業会計決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和元年度諫早市下水道事業会計決算

2 審査の期間

令和2年6月29日から令和2年8月26日まで

3 審査の手続

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書について、地方公営企業法等関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを検証するため、総勘定元帳その他の会計帳票及び関係証書類との照合等の審査手続を実施した。

審査に当たっては、当事業が経済性を発揮し、公共の福祉を増進するために運営されたかを検討するため、事業の経営分析を行った。

第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び付属明細書は、関係法令に準拠して作成されており、当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

審査の結果の詳細は、次のとおりである。

1 事業の概要について

(1) 下水道処理状況

当年度末における接続人口は86,768人で、前年度に比べ1,943人(2.3%)増加しており、接続戸数は41,042戸で、前年度に比べ1,381戸(3.5%)増加している。普及率は75.9%で、前年度に比べ1.1ポイント上昇している。年間総処理水量は12,723,463 m^3 で、前年度に比べ270,835 m^3 (2.2%)増加し、年間有収水量は12,120,250 m^3 で、前年度に比べ289,050 m^3 (2.4%)増加している。有収率は95.3%で、前年度に比べ0.3ポイント増加している。

(2) 建設改良事業

当年度における建設改良事業の状況は、拡張工事では、公共下水道事業で大村湾処理区24件、297,823,280円、諫早湾処理区21件、465,719,180円、特定環境保全公共下水道事業で飯盛処理区13件、206,485,580円、高来処理区17件、217,133,160円、農業集落排水事業で大草地区9件、239,550,300円、漁業集落排水事業で有喜・松里地区8件、97,643,480円である。改良工事では、公共下水道事業で6件、71,334,000円、農業集落排水事業で4件、10,749,200円である。

主な拡張工事は、半造川第1号污水幹線布設工事(31-1工区)85,026,700円、栗面地区污水管渠工事(31-1工区)54,943,900円、栗面地区污水管渠工事(31-4工区)54,740,400円である。主な改良工事は、津久葉地区污水管渠改良工事(30-2工区)23,184,360円である。主な保存工事は、諫早中央浄化センター2系曝気機分解整備工事17,600,000円である。

なお、国交付金の追加交付分であること及び地元調整に不測の日数を要したこと等により、次年度へ繰越された事業は16件、繰越金額は611,926,068円である。

2 予算の執行状況について

当年度の予算の執行状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

(単位:円)

区 分	令和元年度				平成30年度	対前年度		
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成比 (%)	増減額 (B) - (A)	収入率 (%) (B) / (A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B) - (C)	比 率 (%) (D) / (C)
営業収益	2,465,944,000	2,390,048,520	47.4	△ 75,895,480	96.9	2,325,254,560	64,793,960	2.8
公共下水道事業収益	1,995,484,000	1,919,174,020	38.1	△ 76,309,980	96.2	1,866,268,710	52,905,310	2.8
特定環境保全公共下水道事業収益	159,170,000	167,529,450	3.3	8,359,450	105.3	161,154,210	6,375,240	4.0
農業集落排水事業収益	217,522,000	218,658,720	4.3	1,136,720	100.5	218,862,690	△ 203,970	△ 0.1
漁業集落排水事業収益	25,391,000	21,834,790	0.4	△ 3,556,210	86.0	18,239,790	3,595,000	19.7
公共下水道事業他会計補助金	52,762,000	47,927,000	1.0	△ 4,835,000	90.8	45,896,000	2,031,000	4.4
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	6,065,000	5,571,000	0.1	△ 494,000	91.9	5,683,000	△ 112,000	△ 2.0
農業集落排水事業他会計補助金	8,829,000	8,101,000	0.2	△ 728,000	91.8	8,292,000	△ 191,000	△ 2.3
漁業集落排水事業他会計補助金	708,000	680,000	0.0	△ 28,000	96.0	662,000	18,000	2.7
公共下水道事業その他営業収益	7,000	532,060	0.0	525,060	7600.9	156,360	375,700	240.3
特定環境保全公共下水道その他営業収益	2,000	1,760	0.0	△ 240	88.0	1,660	100	6.0
農業集落排水事業その他営業収益	2,000	35,040	0.0	33,040	1752.0	35,520	△ 480	△ 1.4
漁業集落排水事業その他営業収益	2,000	3,680	0.0	1,680	184.0	2,620	1,060	40.5
営業外収益	2,610,894,000	2,595,195,082	51.5	△ 15,698,918	99.4	2,720,371,635	△ 125,176,553	△ 4.6
公共下水道事業受取利息及び配当金	508,000	465,221	0.0	△ 42,779	91.6	461,851	3,370	0.7
公共下水道事業他会計補助金	695,686,000	697,242,000	13.8	1,556,000	100.2	736,166,000	△ 38,924,000	△ 5.3
特定環境保全公共下水道事業他会計補助金	237,757,000	239,616,000	4.8	1,859,000	100.8	232,032,000	7,584,000	3.3
農業集落排水事業他会計補助金	397,211,000	398,678,000	7.9	1,467,000	100.4	394,830,000	3,848,000	1.0
漁業集落排水事業他会計補助金	13,250,000	13,348,000	0.3	98,000	100.7	12,191,000	1,157,000	9.5
公共下水道事業長期前受金戻入	671,141,000	669,134,172	13.3	△ 2,006,828	99.7	751,694,352	△ 82,560,180	△ 11.0
特定環境保全公共下水道事業長期前受金戻入	248,271,000	248,737,846	4.9	466,846	100.2	252,402,551	△ 3,664,705	△ 1.5
農業集落排水事業長期前受金戻入	318,091,000	293,632,320	5.8	△ 24,458,680	92.3	312,537,918	△ 18,905,598	△ 6.0
漁業集落排水事業長期前受金戻入	21,282,000	20,708,148	0.4	△ 573,852	97.3	20,152,557	555,591	2.8
雑収益	7,697,000	13,633,375	0.3	5,936,375	177.1	7,903,406	5,729,969	72.5
特別利益	113,008,000	55,951,209	1.1	△ 57,056,791	49.5	69,305,873	△ 13,354,664	△ 19.3
固定資産売却益	4,000	-	-	△ 4,000	-	-	-	-
過年度損益修正益	4,000	987,310	0.0	983,310	24,682.8	38,080	949,230	2492.7
その他特別利益	113,000,000	54,963,899	1.1	△ 58,036,101	48.6	69,267,793	△ 14,303,894	△ 20.7
合 計	5,189,846,000	5,041,194,811	100.0	△ 148,651,189	97.1	5,114,932,068	△ 73,737,257	△ 1.4

(税込み)

(収益的支出)

(単位:円)

区 分	令和元年度					平成30年度	対前年度	
	予算額 (A)	決算額 (B)	構成比 (%)	不用額 (A) - (B)	執行率 (%) (B)/(A)	決算額 (C)	増減額 (D) (B) - (C)	比率 (%) (D)/(C)
営業費用	4,032,062,000	3,761,693,263	86.3	270,368,737	93.3	3,994,003,806	△ 232,310,543	△ 5.8
公共下水道事業管渠費	43,439,657	40,632,585	0.9	2,807,072	93.5	40,716,979	△ 84,394	△ 0.2
特定環境保全公共下水道事業管渠費	39,782,639	28,562,534	0.7	11,220,105	71.8	35,883,164	△ 7,320,630	△ 20.4
農業集落排水事業管渠費	84,255,707	65,943,130	1.5	18,312,577	78.3	55,636,244	10,306,886	18.5
漁業集落排水事業管渠費	1,444,928	844,303	0.0	600,625	58.4	772,454	71,849	9.3
公共下水道事業ポンプ場費	33,792,251	28,146,837	0.6	5,645,414	83.3	24,370,584	3,776,253	15.5
公共下水道事業処理場費	898,950,517	811,635,703	18.6	87,314,814	90.3	777,161,479	34,474,224	4.4
特定環境保全公共下水道事業処理場費	122,629,187	111,164,786	2.5	11,464,401	90.7	110,665,685	499,101	0.5
農業集落排水事業処理場費	162,081,114	143,584,946	3.3	18,496,168	88.6	161,842,083	△ 18,257,137	△ 11.3
漁業集落排水事業処理場費	12,045,000	9,472,216	0.2	2,572,784	78.6	9,600,180	△ 127,964	△ 1.3
公共下水道事業総係費	121,232,116	103,288,587	2.4	17,943,529	85.2	106,682,728	△ 3,394,141	△ 3.2
特定環境保全公共下水道事業総係費	19,957,715	16,348,138	0.4	3,609,577	81.9	17,356,709	△ 1,008,571	△ 5.8
農業集落排水事業総係費	29,629,424	24,284,168	0.6	5,345,256	82.0	24,869,101	△ 584,933	△ 2.4
漁業集落排水事業総係費	2,140,745	1,712,700	0.0	428,045	80.0	1,956,042	△ 243,342	△ 12.4
公共下水道事業減価償却費	1,356,112,000	1,341,849,567	30.8	14,262,433	98.9	1,317,900,221	23,949,346	1.8
特定環境保全公共下水道事業減価償却費	456,464,000	452,984,477	10.4	3,479,523	99.2	457,604,003	△ 4,619,526	△ 1.0
農業集落排水事業減価償却費	541,828,000	539,672,866	12.4	2,155,134	99.6	557,821,678	△ 18,148,812	△ 3.3
漁業集落排水事業減価償却費	39,429,000	38,090,931	0.9	1,338,069	96.6	36,843,262	1,247,669	3.4
公共下水道事業資産減耗費	13,369,000	69,353	0.0	13,299,647	0.5	230,583,791	△ 230,514,438	△ 100.0
特定環境保全公共下水道事業資産減耗費	23,000	18,191	0.0	4,809	79.1	35,516	△ 17,325	△ 48.8
農業集落排水事業資産減耗費	53,451,000	3,385,997	0.1	50,065,003	6.3	25,701,903	△ 22,315,906	△ 86.8
漁業集落排水事業資産減耗費	1,000	1,248	0.0	△ 248	124.8	-	1,248	皆増
その他営業費用	4,000	-	-	4,000	-	-	-	-
営業外費用	652,801,000	596,566,059	13.7	56,234,941	91.4	646,767,324	△ 50,201,265	△ 7.8
公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	363,431,000	333,463,677	7.7	29,967,323	91.8	362,694,101	△ 29,230,424	△ 8.1
特定環境保全公共下水道事業支払利息及び企業債取扱諸費	116,098,000	105,002,341	2.4	11,095,659	90.4	108,333,117	△ 3,330,776	△ 3.1
農業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	154,326,000	151,060,052	3.5	3,265,948	97.9	162,577,597	△ 11,517,545	△ 7.1
漁業集落排水事業支払利息及び企業債取扱諸費	8,104,000	5,971,839	0.1	2,132,161	73.7	5,837,289	134,550	2.3
消費税及び地方消費税	9,174,000	-	-	9,174,000	0.0	6,258,500	△ 6,258,500	皆減
雑支出	1,668,000	1,068,150	0.0	599,850	64.0	1,066,720	1,430	0.1
特別損失	604,000	688,580	0.0	△ 84,580	114.0	110,820	577,760	521.3
固定資産売却損	4,000	-	-	4,000	-	-	-	-
過年度損益修正損	600,000	688,580	0.0	△ 88,580	114.8	110,820	577,760	521.3
予備費	10,000,000	-	-	10,000,000	-	-	-	-
合 計	4,695,467,000	4,358,947,902	100.0	336,519,098	92.8	4,640,881,950	△ 281,934,048	△ 6.1

(税込み)

収入合計は5,041,194,811円で、予算額5,189,846,000円に対し148,651,189円少なく、収入率は97.1%である。

主な理由は、公共下水道事業収益が予算額を下回ったことによるものである。

支出合計は4,358,947,902円で、予算額4,695,467,000円に対して336,519,098円の不用額を生じており、執行率は92.8%である。

主な不用額は、公共下水道事業処理場費87,314,814円、農業集落排水事業資産減耗費50,065,003円である。

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

(単位:円)

区 分	令和元年度						平成30年度	対前年度		
	予 算 額			決 算 額		増減額 (B)-(A)	収入率 (%) (B)/(A)	決 算 額 (C)	増減額 (D)	比率 (%) (D)/(C)
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成比 (%)					
企業債	1,799,600,000	149,600,000	1,949,200,000	1,264,000,000	53.6	△ 685,200,000	64.9	1,183,700,000	80,300,000	6.8
公共下水道事業企業債	1,238,100,000	87,400,000	1,325,500,000	744,300,000	31.5	△ 581,200,000	56.2	705,100,000	39,200,000	5.6
特定環境保全公共下水道事業企業債	381,400,000	17,400,000	398,800,000	345,800,000	14.7	△ 53,000,000	86.7	325,800,000	20,000,000	6.1
農業集落排水事業企業債	150,700,000	—	150,700,000	112,900,000	4.8	△ 37,800,000	74.9	134,600,000	△ 21,700,000	△ 16.1
漁業集落排水事業企業債	29,400,000	44,800,000	74,200,000	61,000,000	2.6	△ 13,200,000	82.2	18,200,000	42,800,000	235.2
出資金	209,444,000	—	209,444,000	50,829,000	2.2	△ 158,615,000	24.3	204,251,000	△ 153,422,000	△ 75.1
公共下水道事業出資金	18,200,000	—	18,200,000	11,998,000	0.5	△ 6,202,000	65.9	5,480,000	6,518,000	118.9
特定環境保全公共下水道事業出資金	75,013,000	—	75,013,000	11,298,000	0.5	△ 63,715,000	15.1	66,922,000	△ 55,624,000	△ 83.1
農業集落排水事業出資金	115,667,000	—	115,667,000	26,778,000	1.2	△ 88,889,000	23.2	131,849,000	△ 105,071,000	△ 79.7
漁業集落排水事業出資金	564,000	—	564,000	755,000	0.0	191,000	133.9	—	755,000	皆増
補助金	1,030,619,000	84,133,924	1,114,752,924	909,089,290	38.5	△ 205,663,634	81.6	730,719,246	178,370,044	24.4
公共下水道事業補助金	597,751,000	31,235,910	628,986,910	473,435,130	20.1	△ 155,551,780	75.3	380,354,110	93,081,020	24.5
特定環境保全公共下水道事業補助金	162,800,000	18,913,014	181,713,014	148,634,160	6.3	△ 33,078,854	81.8	109,526,136	39,108,024	35.7
農業集落排水事業補助金	251,068,000	—	251,068,000	238,748,000	10.1	△ 12,320,000	95.1	220,453,000	18,295,000	8.3
漁業集落排水事業補助金	19,000,000	33,985,000	52,985,000	48,272,000	2.0	△ 4,713,000	91.1	20,386,000	27,886,000	136.8
負担金及び分担金	225,856,000	—	225,856,000	134,668,385	5.7	△ 91,187,615	59.6	436,629,252	△ 301,960,867	△ 69.2
公共下水道事業負担金	113,996,000	—	113,996,000	101,944,785	4.3	△ 12,051,215	89.4	356,724,152	△ 254,779,367	△ 71.4
特定環境保全公共下水道事業負担金	19,892,000	—	19,892,000	15,976,500	0.7	△ 3,915,500	80.3	16,246,200	△ 269,700	△ 1.7
農業集落排水事業負担金	81,347,000	—	81,347,000	7,142,700	0.3	△ 74,204,300	8.8	47,261,700	△ 40,119,000	△ 84.9
漁業集落排水事業負担金	10,621,000	—	10,621,000	9,604,400	0.4	△ 1,016,600	90.4	16,397,200	△ 6,792,800	△ 41.4
固定資産売却代金	4,000	—	4,000	—	—	△ 4,000	—	—	—	—
合 計	3,265,523,000	233,733,924	3,499,256,924	2,358,586,675	100.0	△ 1,140,670,249	67.4	2,555,299,498	△ 196,712,823	△ 7.7

(税込み)

(資本の支出)

(単位:円)

区 分	令和元年度								平成30年度	対前年度	
	予 算 額			決 算 額		翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (%) (B)/(A)	決 算 額 (D)	増減額 (E) (B)-(D)	比率 (%) (E)/(D)
	当年度	繰越額	計 (A)	(B)	構成比 (%)						
建設改良費	2,924,585,000	297,568,448	3,222,153,448	2,018,708,544	49.0	611,926,068	591,518,836	62.7	2,118,989,728	△ 100,281,184	△ 4.7
公共下水道事業 拡張費	1,298,596,900	41,648,928	1,340,245,828	849,077,510	20.6	355,705,988	135,462,330	63.4	721,776,666	127,300,844	17.6
特定環境保全公共 下水道事業拡張費	567,303,100	33,103,520	600,406,620	461,858,920	11.2	114,334,880	24,212,820	76.9	429,610,393	32,248,527	7.5
農業集落排水事 業拡張費	277,512,000	—	277,512,000	246,323,900	6.0	—	31,188,100	88.8	219,213,960	27,109,940	12.4
漁業集落排水事 業拡張費	48,800,000	88,126,000	136,926,000	114,515,100	2.8	—	22,410,900	83.6	42,918,600	71,596,500	166.8
公共下水道事業 改良費	186,600,000	121,426,180	308,026,180	122,544,000	3.0	78,690,000	106,792,180	39.8	241,852,560	△ 119,308,560	△ 49.3
特定環境保全公共 下水道事業改良費	9,600,000	13,263,820	22,863,820	13,263,820	0.3	—	9,600,000	58.0	—	13,263,820	皆増
農業集落排水事 業改良費	120,080,000	—	120,080,000	27,466,400	0.7	31,295,200	61,318,400	22.9	118,469,700	△ 91,003,300	△ 76.8
公共下水道事業受 益者負担金徴収費	13,032,000	—	13,032,000	9,004,793	0.2	—	4,027,207	69.1	9,730,674	△ 725,881	△ 7.5
特定環境保全公共下 水道事業受益者負担 金徴収費	8,170,000	—	8,170,000	6,586,705	0.2	—	1,583,295	80.6	6,788,467	△ 201,762	△ 3.0
農業集落排水事業 受益者負担金徴収 費	212,000	—	212,000	112,408	0.0	—	99,592	53.0	86,592	25,816	29.8
漁業集落排水事業 受益者負担金徴収 費	9,246,000	—	9,246,000	5,689,556	0.1	—	3,556,444	61.5	5,459,417	230,139	4.2
公共下水道事業有 形固定資産購入費	5,788,000	—	5,788,000	4,657,042	0.1	—	1,130,958	80.5	687,480	3,969,562	577.4
特定環境保全公共下 水道事業有形固定資 産購入費	522,000	—	522,000	369,487	0.0	—	152,513	70.8	60,984	308,503	505.9
農業集落排水事業 有形固定資産購入 費	272,000	—	272,000	251,996	0.0	—	20,004	92.6	159,809	92,187	57.7
漁業集落排水事業 有形固定資産購入 費	467,000	—	467,000	273,310	0.0	—	193,690	58.5	90,919	182,391	200.6
公共下水道事業無 形固定資産購入費	207,957,970	—	207,957,970	33,994,839	0.8	15,278,230	158,684,901	16.3	184,698,149	△ 150,703,310	△ 81.6
特定環境保全公共下 水道事業無形固定資 産購入費	5,364,390	—	5,364,390	352,472	0.0	4,988,390	23,528	6.6	881,871	△ 529,399	△ 60.0
農業集落排水事業 無形固定資産購入 費	12,756,000	—	12,756,000	511,835	0.0	10,893,740	1,350,425	4.0	1,254,369	△ 742,534	△ 59.2
漁業集落排水事業 無形固定資産購入 費	766,640	—	766,640	25,310	0.0	739,640	1,690	3.3	28,353	△ 3,043	△ 10.7
公共下水道事業建 設改良管理費	79,585,757	—	79,585,757	62,440,314	1.5	—	17,145,443	78.5	71,060,217	△ 8,619,903	△ 12.1
特定環境保全公共下 水道事業建設改良管 理費	33,309,768	—	33,309,768	25,406,909	0.6	—	7,902,859	76.3	26,800,545	△ 1,393,636	△ 5.2
農業集落排水事業 建設改良管理費	8,080,000	—	8,080,000	6,947,489	0.2	—	1,132,511	86.0	7,069,849	△ 122,360	△ 1.7
漁業集落排水事業 建設改良管理費	30,563,475	—	30,563,475	27,034,429	0.7	—	3,529,046	88.5	30,290,154	△ 3,255,725	△ 10.7
企業債償還金	2,108,407,000	—	2,108,407,000	2,108,405,476	51.0	—	1,524	100.0	2,117,981,376	△ 9,575,900	△ 0.5
公共下水道事業 企業債償還金	1,281,781,000	—	1,281,781,000	1,281,780,940	31.0	—	60	100.0	1,323,187,170	△ 41,406,230	△ 3.1
特定環境保全公共下 水道事業企業債償還 金	271,495,000	—	271,495,000	271,494,738	6.6	—	262	100.0	257,574,991	13,919,747	5.4
農業集落排水事 業企業債償還金	554,363,000	—	554,363,000	554,362,275	13.4	—	725	100.0	537,219,215	17,143,060	3.2
漁業集落排水事 業企業債償還金	768,000	—	768,000	767,523	0.0	—	477	99.9	—	767,523	皆増
投資	2,015,000	—	2,015,000	454,523	0.0	—	1,560,477	22.6	452,874	1,649	0.4
基金費	2,015,000	—	2,015,000	454,523	0.0	—	1,560,477	22.6	452,874	1,649	0.4
合 計	5,035,007,000	297,568,448	5,332,575,448	4,127,568,543	100.0	611,926,068	593,080,837	77.4	4,237,423,978	△ 109,855,435	△ 2.6

(税込み)

収入合計は2,358,586,675円で、予算額3,499,256,924円に対して1,140,670,249円少なく、収入率は67.4%である。

支出合計は4,127,568,543円、翌年度繰越額は611,926,068円で、予算額5,332,575,448円に対し593,080,837円の不用額を生じ、執行率は77.4%である。

主な不用額は、公共下水道事業拡張費135,462,330円、公共下水道事業改良費106,792,180円、農業集落排水事業改良費61,318,400円、公共下水道事業無形固定資産購入費158,684,901円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,768,981,868円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額94,939,612円、減債積立金536,503,009円、過年度分損益勘定留保資金60,801,643円及び当年度分損益勘定留保資金1,076,737,604円で補てんされている。

(3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第17条に規定する予算に係る事項の執行状況は、次のとおりである。

① 債務負担行為

債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、予算に定めた範囲内で執行されている。

② 企業債

起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、予算の範囲内で執行されている。

③ 一時借入金

当年度の一時借入金限度額は、500,000,000円であったが、執行はなかった。

④ 議会の議決を経なければ流用することができない経費

職員給与費260,505,000円であり、流用はなく、予算の範囲内で執行されている。

⑤ 他会計からの補助金

一般会計からの補助金は1,677,681,000円（収益的収入1,411,163,000円、資本的収入266,518,000円）である。

⑥ たな卸資産購入限度額

当年度のたな卸資産購入限度額の1,500,000円に対し、執行額は201,960円であり予算の範囲内で執行されている。

3 経営成績について

当年度の経営成績を前年度と対比すると、次の損益計算書のとおりである。

営業収益は2,204,318,948円で、前年度に比べ46,806,988円増加し、営業費用は3,659,325,834円で、前年度に比べ244,684,295円減少している。この結果、営業損失は1,455,006,886円で、前年度に比べ291,491,283円減少している。営業外収益は2,590,002,753円で、前年度に比べ130,584,771円減少し、営業外費用は598,869,705円で、前年度に比べ43,598,267円減少している。これにより、経常利益は536,126,162円、当年度純利益は587,292,337円である。

(損益計算書)

(単位：円)

科 目	令和元年度			平成30年度			比較増減
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
営業収益		2,204,318,948	100.0		2,157,511,960	100.0	46,806,988
事業収益	2,141,467,408		97.2	2,096,782,800		97.2	44,684,608
他会計補助金	62,279,000		2.8	60,533,000		2.8	1,746,000
その他営業収益	572,540		0.0	196,160		0.0	376,380
営業費用		3,659,325,834	100.0		3,904,010,129	100.0	△244,684,295
管渠費	125,322,176		3.4	123,672,241		3.2	1,649,935
ポンプ場費	25,895,721		0.7	22,643,803		0.6	3,251,918
処理場費	991,040,913		27.1	984,190,881		25.2	6,850,032
総係費	140,994,394		3.9	147,012,830		3.7	△6,018,436
減価償却費	2,372,597,841		64.8	2,370,169,164		60.7	2,428,677
資産減耗費	3,474,789		0.1	256,321,210		6.6	△252,846,421
営業損失		1,455,006,886			1,746,498,169		△291,491,283
営業外収益		2,590,002,753	100.0		2,720,587,524	100.0	△130,584,771
受取利息及び配当金	465,221		0.0	461,851		0.0	3,370
他会計補助金	1,348,884,000		52.1	1,375,219,000		50.6	△26,335,000
長期前受金戻入	1,232,212,486		47.6	1,336,787,378		49.1	△104,574,892
雑収益	8,441,046		0.3	8,119,295		0.3	321,751
営業外費用		598,869,705	100.0		642,467,972	100.0	△43,598,267
支払利息及び企業債取扱諸費	595,497,909		99.4	639,442,104		99.5	△43,944,195
雑支出	3,371,796		0.6	3,025,868		0.5	345,928
経常利益		536,126,162			331,621,383		204,504,779
特別利益		51,806,913	100.0		64,172,108	100.0	△12,365,195
過年度損益修正益	914,413		1.8	35,262		0.1	879,151
その他特別利益	50,892,500		98.2	64,136,846		99.9	△13,244,346
特別損失		640,738	100.0		102,615	100.0	538,123
過年度損益修正損	640,738		100.0	102,615		100.0	538,123
当年度純利益		587,292,337			395,690,876		191,601,461
前年度繰越利益剰余金		-			-		
当年度未処分利益剰余金		587,292,337			395,690,876		191,601,461

(税抜き)

(営業費用構成年度比較)

(単位:円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
管 渠 費	125,322,176	3.4	123,672,241	3.2	1,649,935
ポ ンプ 場 費	25,895,721	0.7	22,643,803	0.6	3,251,918
処 理 場 費	991,040,913	27.1	984,190,881	25.2	6,850,032
総 係 費	140,994,394	3.9	147,012,830	3.8	△ 6,018,436
減 価 償 却 費	2,372,597,841	64.8	2,370,169,164	60.7	2,428,677
資 産 減 耗 費	3,474,789	0.1	256,321,210	6.5	△ 252,846,421
合 計	3,659,325,834	100.0	3,904,010,129	100.0	△ 244,684,295

(税抜き)

次に、営業費用を性質別に見ると、次表のとおりである。

(営業費用性質別年度比較)

(単位:円)

区 分	令和元年度		平成30年度		比較増減
		構成比(%)		構成比(%)	
給 与 費 等	96,225,387	2.6	95,365,503	2.4	859,884
委 託 料	367,921,360	10.0	370,162,986	9.5	△ 2,241,626
修 繕 費 等	111,849,470	3.1	112,694,010	2.9	△ 844,540
動 力 費 等	177,723,880	4.9	174,900,911	4.5	2,822,969
負 担 金	488,863,719	13.4	480,754,489	12.3	8,109,230
減 価 償 却 費 等	2,376,072,630	64.9	2,626,490,374	67.3	△ 250,417,744
そ の 他	40,669,388	1.1	43,641,856	1.1	△ 2,972,468
合 計	3,659,325,834	100.0	3,904,010,129	100.0	△ 244,684,295

(税抜き)

- (注) 1. 給与費等には、給料のほか手当、賞与引当金繰入額、報酬、賃金、法定福利費及び退職給付金を含む。
 2. 修繕費等には、修繕費のほか材料費を含む。
 3. 動力費等には、動力費のほか薬品費、光熱水費及び通信運搬費を含む。
 4. 減価償却費等には、減価償却費のほか資産減耗費を含む。

(2) 営業外収益及び営業外費用

営業外収益は2,590,002,753円で、前年度に比べ130,584,771円(△4.8%)減少している。主な理由は、長期前受金戻入の減少である。

営業外費用は598,869,705円で、前年度に比べ43,598,267円(△6.8%)減少している。主な理由は、支払利息及び企業債取扱諸費の減少である。

(3) 特別利益及び特別損失

特別利益は51,806,913円で、前年度に比べ12,365,195円(△19.3%)減少している。主な理由は、その他特別利益の減少である。

特別損失は640,738円で、前年度に比べ538,123円(524.4%)増加している。この理由は、過年度損益修正損の増加である。

(4) 原価計算

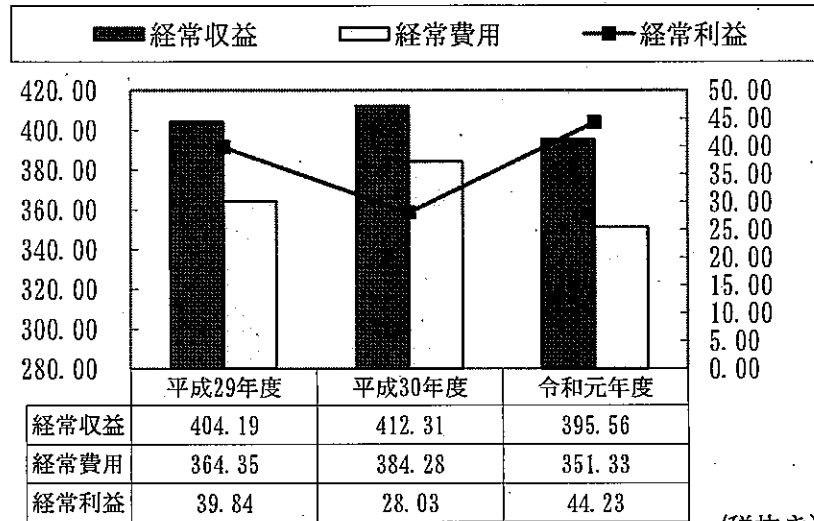
有収水量1m³当たりの収益及び費用は、次表のとおりである。

単位当たりの経常収益は、前年度に比べ16.75円減少し、経常費用は32.95円減少している。この結果、経常利益は16.2円増加している。

使用料単価は、前年度に比べ0.53円減少し、汚水処理原価は16.5円減少している。この結果、使用料単価から汚水処理原価の差引は15.97円増加している。

(単位当たり経常利益年度比較)

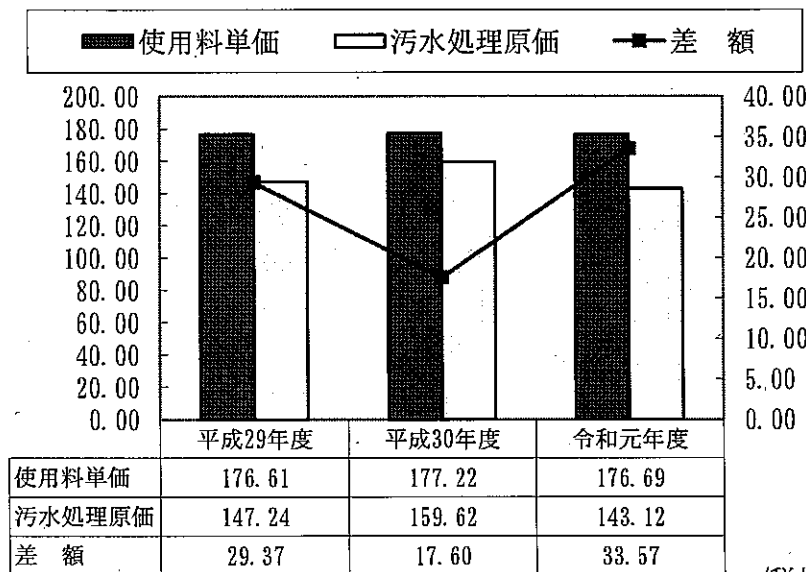
(単位：円/m³)



(税抜き)

(単位当たり使用料単価及び汚水処理原価年度比較)

(単位：円/m³)



(税抜き)

(注) 汚水処理原価(使用料対象原価) = 経常費用 - (不用品売却原価 + 基準内繰入金(収益的収入分)) - 長期前受金戻入(元金償還に係る一般会計補助金収益化額を除く) / 年間総有収水量

(5) 剰余金計算

剰余金の当年度中の増減状況は、次頁のとおりである。

当年度未処分利益剰余金587,292,337円は、全額減債積立金に積み立てる予定としている。

(剰余金計算書)

(単位：円)

	資本金		剰余金						資本合計
	資本金		資本剰余金			利益剰余金			
	受贈財産評価額	補助金	受益者負担金 及び分担金	資本剰余金合計	減債積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計		
前年度末残高	6,650,081,372	568,812,476	922,499	597,524,285	991,360,795	395,690,876	1,387,051,671	8,634,657,328	
前年度剰余金の処分額	—	—	—	—	395,690,876	△ 395,690,876	—	—	
<small>諫早市上下水道事業の設置等 に関する条例第6条第1項によ る処分額</small> 減債積立金の積立	—	—	—	—	395,690,876	△ 395,690,876	—	—	
処分後残高	6,650,081,372	568,812,476	922,499	597,524,285	1,387,051,671	—	1,387,051,671	8,634,657,328	
当年度変動額	587,332,009	3,372,180	—	3,372,180	△ 536,503,009	587,292,337	50,789,328	641,493,517	
出資金の受入	50,829,000	—	—	—	—	—	—	50,829,000	
資本金への組入	536,503,009	3,372,180	—	3,372,180	△ 536,503,009	—	△ 536,503,009	3,372,180	
当年度純利益	—	—	—	—	—	587,292,337	587,292,337	587,292,337	
当年度末残高	7,237,413,381	568,812,476	922,499	600,896,465	850,548,662	587,292,337	1,437,840,999	9,276,150,845	

(税抜き)

(6) 各下水道事業の経営成績

各下水道事業の経営成績は、次表のとおりである。

事業別に当年度の純利益（純損失）を見ると、公共下水道事業は純利益652,579,799円、特定環境保全公共下水道事業は純損失55,049,191円、農業集落排水事業は純損失9,722,586円、漁業集落排水事業は純損失515,685円である。

(事業別経営成績)

(単位：円)

科 目	公共下水道事業	特定環境保全 公共下水道事業	農 業 集 落 排 水 事 業	漁 業 集 落 排 水 事 業	合 計
営業収益	1,814,449,303	159,730,165	209,371,171	20,768,309	2,204,318,948
事業収益	1,765,990,243	154,157,405	201,235,131	20,084,629	2,141,467,408
他会計補助金	47,927,000	5,571,000	8,101,000	680,000	62,279,000
その他営業収益	532,060	1,760	35,040	3,680	572,540
営業費用	2,252,374,465	597,692,846	760,002,311	49,256,212	3,659,325,834
管渠費	37,384,787	26,268,557	60,889,329	779,503	125,322,176
ポンプ場費	25,895,721	—	—	—	25,895,721
処理場費	747,283,609	102,527,650	132,508,526	8,721,128	991,040,913
総係費	99,891,428	15,893,971	23,545,593	1,663,402	140,994,394
減価償却費	1,341,849,567	452,984,477	539,672,866	38,090,931	2,372,597,841
資産減耗費	69,353	18,191	3,385,997	1,248	3,474,789
営業利益（損失）	△ 437,925,162	△ 437,962,681	△ 550,631,140	△ 28,487,903	△ 1,455,006,886
営業外収益	1,375,231,143	488,379,043	692,328,015	34,064,552	2,590,002,753
受取利息及び配当金	465,221	—	—	—	465,221
他会計補助金	697,242,000	239,616,000	398,678,000	13,348,000	1,348,884,000
長期前受金戻入	669,134,172	248,737,846	293,632,320	20,708,148	1,232,212,486
雑収益	8,389,750	25,197	17,695	8,404	8,441,046
営業外費用	335,999,129	105,382,801	151,395,441	6,092,334	598,869,705
支払利息及び企業債取扱諸費	333,463,677	105,002,341	151,060,052	5,971,839	595,497,909
雑支出	2,535,452	380,460	335,389	120,495	3,371,796
經常利益（損失）	601,306,852	△ 54,966,439	△ 9,698,566	△ 515,685	536,126,162
特別利益	51,557,181	—	249,732	—	51,806,913
過年度損益修正益	664,681	—	249,732	—	914,413
その他特別利益	50,892,500	—	—	—	50,892,500
特別損失	284,234	82,752	273,752	—	640,738
過年度損益修正損	284,234	82,752	273,752	—	640,738
当年度純利益（純損失）	652,579,799	△ 55,049,191	△ 9,722,586	△ 515,685	587,292,337
前年度繰越利益剰余金	—	—	—	—	—
当年度未処分利益剰余金（未処理欠損金）	652,579,799	△ 55,049,191	△ 9,722,586	△ 515,685	587,292,337

(税抜き)

4 財政状態について

当年度末の財政状態を前年度と対比すると、次頁の貸借対照表のとおりである。

資産の部では、固定資産が73,867,751,061円で、前年度に比べ511,997,602円(△0.7%)減少している。資産合計は75,934,979,773円で、前年度に比べ1,086,684,805円(△1.4%)減少している。

負債及び資本の部では、負債合計が66,658,828,928円で、前年度に比べ1,728,178,322円(△2.5%)減少し、資本合計は9,276,150,845円で、前年度に比べ641,493,517円(7.4%)増加している。

各区分の財政状態の詳細は次のとおりである。

(1) 資産の部

有形固定資産は70,815,576,371円で、前年度に比べ460,444,131円減少している。主な理由は、減価償却による減少である。

無形固定資産は2,548,073,901円で、前年度に比べ52,007,994円減少している。主な理由は、施設利用権の減少である。

また、流動資産は2,067,228,712円で、前年度に比べ574,687,203円減少している。主な理由は、現金・預金の減少である。

(2) 負債の部

固定負債は29,948,034,368円で、前年度に比べ840,874,625円減少している。主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債の減少である。

また、流動負債は2,576,847,555円で、前年度に比べ635,329,629円減少している。主な理由は、未払金の減少である。

(3) 資本の部

資本金は7,237,413,381円で、前年度に比べ587,332,009円増加している。

剰余金は2,038,737,464円で、前年度に比べ54,161,508円増加している。

企業債の未償還残高は、前年度に比べ844,405,476円減少している。

前年度末残高	32,807,023,576 円
当年度発行額	1,264,000,000 円
当年度償還額	2,108,405,476 円
当年度末残高	31,962,618,100 円

(貸借対照表)

(単位:円)

科 目	令和元年度			平成30年度			比較増減
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
(資産の部)							
固定資産							
有形固定資産							
土地		1,253,170,396	1.6		1,249,798,216	1.6	3,372,180
建物	2,894,174,115			2,894,174,115			
減価償却累計額	△ 689,129,384	2,205,044,731	2.9	△ 619,043,844	2,275,130,271	3.0	△ 70,085,540
構築物	76,355,221,203			74,554,025,826			
減価償却累計額	△ 14,070,642,030	62,284,579,173	82.0	△ 12,395,198,980	62,158,826,846	80.7	125,752,327
機械及び装置	10,130,384,002			10,076,874,969			
減価償却累計額	△ 5,818,329,965	4,312,054,037	5.7	△ 5,282,925,451	4,793,949,518	6.2	△ 481,895,481
車両運搬具	5,854,789			4,212,562			
減価償却累計額	△ 2,934,814	2,919,975	0.0	△ 2,693,234	1,519,328	0.0	1,400,647
工具器具及び備品	22,119,947			18,868,995			
減価償却累計額	△ 15,525,607	6,594,340	0.0	△ 15,153,506	3,715,489	0.0	2,878,851
建設仮勘定		751,213,719	1.0		793,080,834	1.0	△ 41,867,115
有形固定資産合計		70,815,576,371	93.2		71,276,020,502	92.5	△ 460,444,131
無形固定資産							
施設利用権		2,537,705,513	3.3		2,591,452,485	3.4	△ 53,746,972
ソフトウェア		10,368,388	0.0		8,629,410	0.0	1,738,978
無形固定資産合計		2,548,073,901	3.3		2,600,081,895	3.4	△ 52,007,994
投資その他資産							
基金		504,100,789	0.7		503,646,266	0.7	454,523
投資その他の資産合計		504,100,789	0.7		503,646,266	0.7	454,523
固定資産合計		73,867,751,061	97.2		74,379,748,663	96.6	△ 511,997,602
流動資産							
現金・預金		1,263,801,277	1.7		1,776,728,134	2.3	△ 512,926,857
未収金		678,870,635	0.9		875,639,781	1.1	△ 196,769,146
貸倒引当金		△ 7,500,000	△ 0.0		△ 10,800,000	△ 0.0	3,300,000
貯蔵品		409,800	0.0		348,000	0.0	61,800
前払金		131,647,000	0.2		—	—	131,647,000
流動資産合計		2,067,228,712	2.8		2,641,915,915	3.4	△ 574,687,203
資産合計		75,934,979,773	100.0		77,021,664,578	100.0	△ 1,086,684,805

(税抜き)

(貸借対照表)

(単位:円)

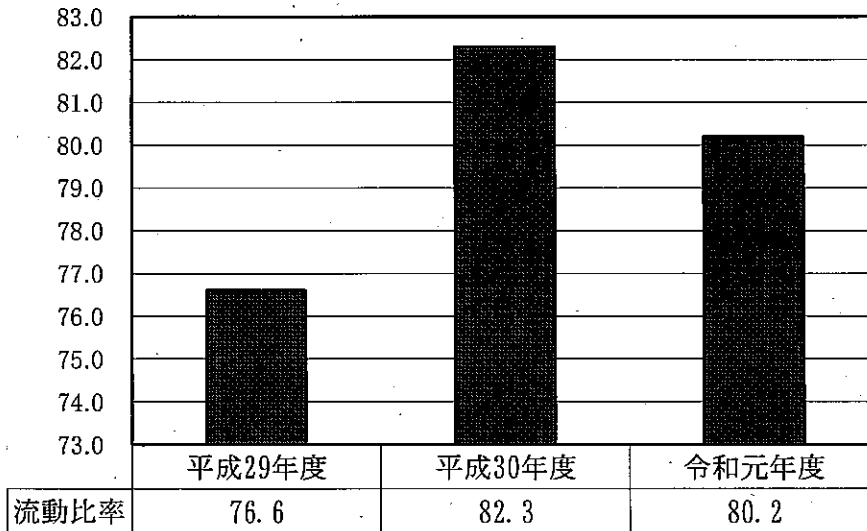
科 目	令和元年度		平成30年度		比較増減
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	
(負債の部)					
固定負債					
企業債					
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	29,845,660,288	39.3	30,698,618,100	39.9	△ 852,957,812
引当金					
退職給付引当金	102,374,080	0.1	90,290,893	0.1	12,083,187
固定負債合計	29,948,034,368	39.4	30,788,908,993	40.0	△ 840,874,625
流動負債					
企業債					
建設改良費等の財源に 充てるための企業債	2,116,957,812	2.8	2,108,405,476	2.7	8,552,336
未払金	420,264,191	0.6	1,065,321,833	1.4	△ 645,057,642
前受金	3,624	0.0	3,624	0.0	0
引当金					
賞与引当金	19,576,000	0.0	18,681,000	0.0	895,000
その他流動負債	20,045,928	0.0	19,765,251	0.0	280,677
流動負債合計	2,576,847,555	3.4	3,212,177,184	4.1	△ 635,329,629
繰延収益					
長期前受金	45,166,691,659	59.5	44,193,425,111	57.4	973,266,548
収益化累計額	△ 11,032,744,654	△ 14.5	△ 9,807,504,038	△ 12.7	△ 1,225,240,616
繰延収益合計	34,133,947,005	45.0	34,385,921,073	44.7	△ 251,974,068
負債合計	66,658,828,928	87.8	68,387,007,250	88.8	△ 1,728,178,322
(資本の部)					
資本金	7,237,413,381	9.5	6,650,081,372	8.6	587,332,009
剰余金					
資本剰余金					
受贈財産評価額	31,161,490	0.0	27,789,310	0.0	3,372,180
補助金	568,812,476	0.8	568,812,476	0.8	—
受益者負担金及び分担金	922,499	0.0	922,499	0.0	—
資本剰余金合計	600,896,465	0.8	597,524,285	0.8	3,372,180
利益剰余金					
減債積立金	850,548,662	1.1	991,360,795	1.3	△ 140,812,133
当年度未処分利益剰余金	587,292,337	0.8	395,690,876	0.5	191,601,461
利益剰余金合計	1,437,840,999	1.9	1,387,051,671	1.8	50,789,328
剰余金合計	2,038,737,464	2.7	1,984,575,956	2.6	54,161,508
資本合計	9,276,150,845	12.2	8,634,657,328	11.2	641,493,517
負債資本合計	75,934,979,773	100.0	77,021,664,578	100.0	△ 1,086,684,805

(税抜き)

ここで、主な財務比率の推移は次のとおりである。

(流動比率)

(単位：%)

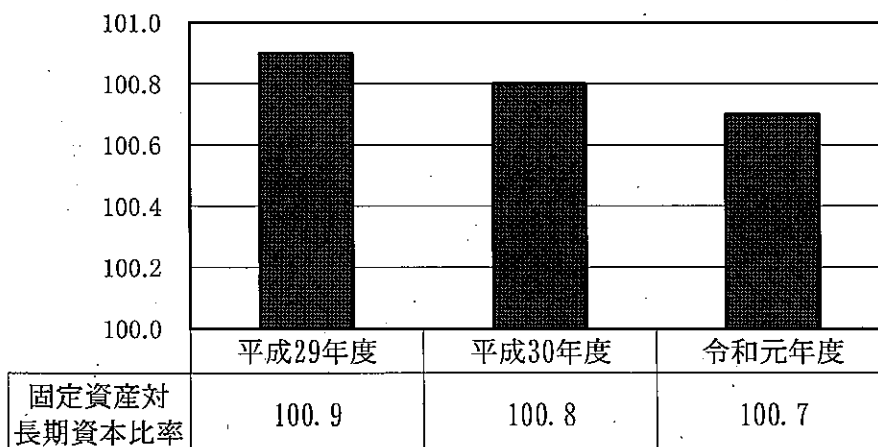


※ 流動比率＝流動資産/流動負債×100

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。流動比率は100%以上であることが望ましい。

(固定資産対長期資本比率)

(単位：%)



※ 固定資産対長期資本比率＝固定資産/(資本金+剰余金+固定負債+繰延収益)×100

固定資産対長期資本比率は、固定資産がどの程度長期資本(自己資本(資本金+剰余金+繰延収益)及び長期借入金(固定負債))によって調達されているかを示すものである。この比率は100%以下で、かつ低いことが望ましい。

5 資金収支の状況について

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施に係る資金の状態を表し、投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動に係る資金の状態を表し、財務活動によるキャッシュ・フローは、業務活動及び投資活動を行うための財務活動に係る資金の状態を表している。

キャッシュ・フロー計算書の推移は、次表のとおりである。

(キャッシュ・フロー計算書)		(単位:円)		
区 分	令和元年度	平成30年度	増減	
1 業務活動によるキャッシュ・フロー				
当年度純利益	587,292,337	395,690,876	191,601,461	
減価償却費	2,372,597,841	2,370,169,164	2,428,677	
固定資産除却費	3,474,789	256,321,210	△ 252,846,421	
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 3,300,000	2,100,000	△ 5,400,000	
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,083,187	9,258,469	2,824,718	
賞与引当金の増減額(△は減少)	837,000	611,000	226,000	
長期前受金戻入額	△ 1,232,212,486	△ 1,336,787,378	104,574,892	
受取利息及び受取配当金	△ 465,221	△ 461,851	△ 3,370	
支払利息	595,497,909	639,442,104	△ 43,944,195	
未収金の増減額(△は増加)	15,667,757	△ 41,065,922	56,733,679	
未払金の増減額(△は減少)	△ 53,292,116	△ 46,898,316	△ 6,393,800	
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 185,650	1,220	△ 186,870	
前払金の増減額(△は増加)	△ 131,647,000	-	△ 131,647,000	
前受金の増減額(△は減少)	0	△ 60	60	
預り金の増減額(△は減少)	280,677	△ 26,492,280	26,772,957	
小 計	2,166,629,024	2,221,888,236	△ 55,259,212	
利息及び配当金の受取額	465,221	461,851	3,370	
利息の支払額	△ 595,497,909	△ 639,442,104	43,944,195	
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,571,596,336	1,582,907,983	△ 11,311,647	
2 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△ 2,229,465,959	△ 1,382,983,838	△ 846,482,121	
無形固定資産の取得による支出	△ 218,639,042	△ 164,108,514	△ 54,530,528	
基金積立てによる収入	△ 454,523	△ 452,874	△ 1,649	
国庫補助金等による収入	742,655,807	876,456,232	△ 133,800,425	
一般会計からの補助金による収入	261,535,000	254,922,000	6,613,000	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,444,368,717	△ 416,166,994	△ 1,028,201,723	
3 財務活動によるキャッシュ・フロー				
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,264,000,000	1,183,700,000	80,300,000	
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 2,108,405,476	△ 2,117,981,376	9,575,900	
他会計からの出資による収入	204,251,000	185,307,000	18,944,000	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 640,154,476	△ 748,974,376	108,819,900	
資金増加額(又は減少額)	△ 512,926,857	417,766,613	△ 930,693,470	
資金期首残高	1,776,728,134	1,358,961,521	417,766,613	
資金期末残高	1,263,801,277	1,776,728,134	△ 512,926,857	

(税抜き)

業務活動によるキャッシュ・フローは、1,571,596,336円で、前年度に比べ11,311,647円減少している。主な理由は固定資産除却費の減少によるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△1,444,368,717円で、前年度に比べ1,028,201,723円減少している。主な理由は、有形固定資産の取得による支出の増加によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△640,154,476円で、前年度に比べ108,819,900円増加している。主な理由は、建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入の増加によるものである。

以上の3区分から当年度の資金は、512,926,857円の減少となり、資金期末残高は1,263,801,277円となる。

キャッシュ・フローを見ると、業務活動で十分なキャッシュを生み出し、投資と借入金返済もできており一般的にいう優良企業型である。

6 セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

諫早市下水道事業会計は、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業を運営しており、各事業で地理的条件や地域性の違いから収益状況等が異なることから、それらを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は、次表のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	市街地における、し尿、生活排水等の処理
特定環境保全公共下水道事業	市街地以外における、し尿、生活排水等の処理
農業集落排水事業	農業集落における、し尿、生活排水等の処理
漁業集落排水事業	漁業集落における、し尿、生活排水等の処理

(2) 報告セグメントごとの営業収益等

当年度の報告セグメントの営業収益等は、次表のとおりである。

(単位：円)

	公共下水道事業	特定環境保全公共下水道事業	農業集落排水事業	漁業集落排水事業	合計
営業収益	1,814,449,303	159,730,165	209,371,171	20,768,309	2,204,318,948
営業費用	2,252,374,465	597,692,846	760,002,311	49,256,212	3,659,325,834
営業損益	△437,925,162	△437,962,681	△550,631,140	△28,487,903	△1,455,006,886
経常損益	601,306,852	△54,966,439	△9,698,566	△515,685	536,126,162
セグメント資産	45,880,321,770	13,378,482,285	15,066,635,440	1,609,540,278	75,934,979,773
セグメント負債	36,374,126,733	13,557,789,046	15,092,002,537	1,634,890,612	66,658,808,928
その他の項目					
一般会計補助金	916,505,542	245,187,000	496,977,458	14,028,000	1,672,698,000
減価償却費	1,341,849,567	452,984,477	539,672,866	38,090,931	2,372,597,841
受取利息	465,221	—	—	—	465,221
支払利息	333,463,677	105,002,341	151,060,052	5,971,839	595,497,909
特別利益	51,557,181	—	249,732	—	51,806,913
特別損失	284,234	82,752	273,752	—	640,738
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	996,517,874	467,808,284	249,855,112	138,697,684	1,852,878,954

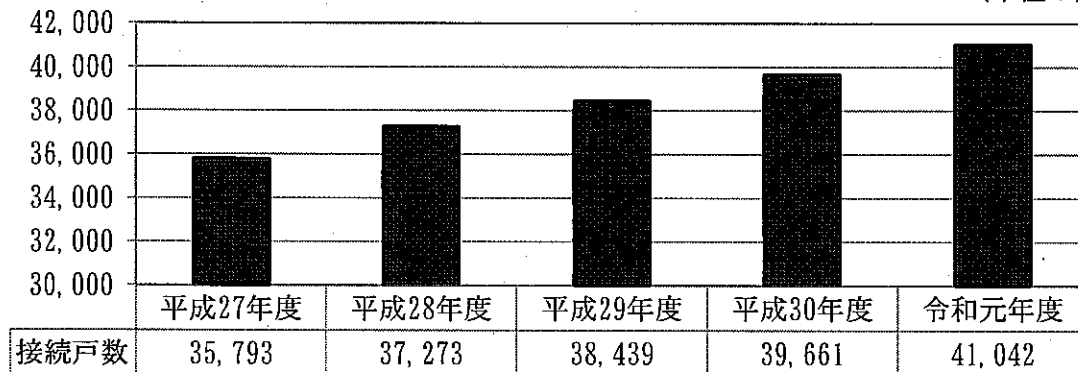
(税抜き)

7 むすび

諫早市下水道事業における、接続戸数、接続率及び年間有収水量の推移は、次のとおりである。

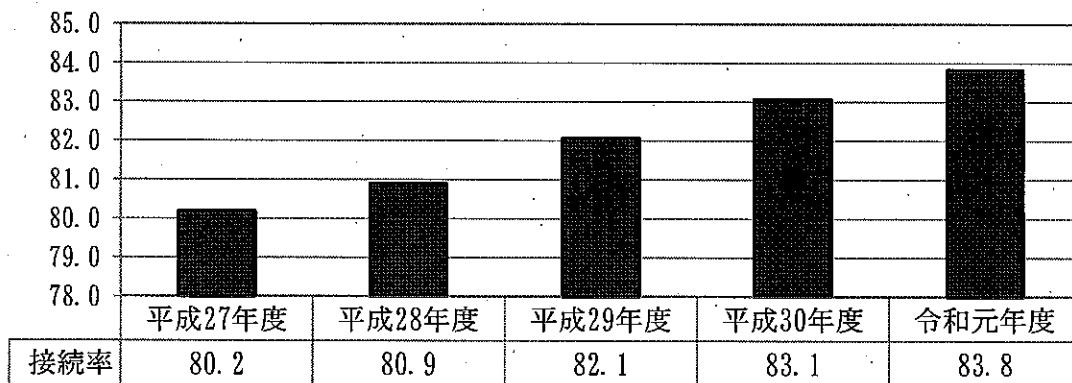
(接続戸数)

(単位：戸)



(接続率)

(単位：%)

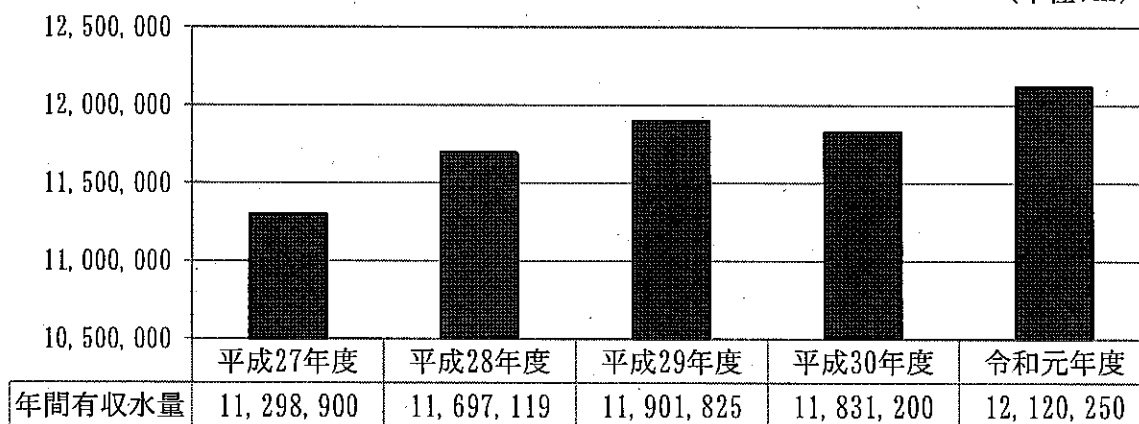


当年度の接続戸数は、前年度に比べ1,381戸増加し、接続率は0.7ポイント上昇している。

人口減少や節水機器の普及などにより、1戸当たりの使用水量が大幅に増えることは難しいので、引き続き供用開始区域内の更なる接続を推進し、下水道使用料の増収を図っていく必要がある。

(年間有収水量)

(単位：m³)



接続戸数と接続率の増加に伴い、当年度の年間有収水量は前年度に比べ289,050m³増加している。

下水道事業の業務実績の年度別推移では、供用開始区域内における下水道への接続戸数及び接続率は年々上昇傾向にあり、これに伴い有収水量も増加しているが、人口減少などにより使用料収入の大幅な増加は見込めず、また、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大や多額の企業債償還（令和元年度末企業債残高31,962,618,100円）が続くなど、下水道事業経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況である。

現在、「諫早市下水道経営戦略プラン」に基づき、普及率や接続率の向上に努めているが、引き続き未接続者や大規模事業者に対する個別訪問などにより、更なる接続推進を図りたい。また、地方公営企業の独立採算制の原則に鑑み、使用料収入を確保することにより、今後も一般会計からの基準外繰入金や企業債残高の縮減に努められたい。

各下水道事業（報告セグメント）の経営成績を見てみると、公共下水道事業の経常利益は黒字であるが、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業では赤字となっている。生活環境の改善と三つの海や河川などの公共用水域の水質保全を図るため、各事業の推進は必要であるが、農業集落排水事業については公共下水道及び特定環境保全公共下水道への接続を検討していくなど、経営の改善に努められたい。

下水道事業の運営にあたっては、長期的展望に立った施設の更新、隣接する処理場の統廃合、民間活力の活用などによる経費縮減の取組や適切な経営計画に基づき経営基盤の改善・強化を図り、事業の効率的かつ効果的な推進に努められたい。